



平成19年11月30日

各 位

会社名 松 竹 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 迫 本 淳 一
(コード番号 9601 5 証券取引所)
問合せ先 取 締 役 油 谷 昇
(TEL 03 - 5550 - 1516)

(訂正)「平成20年2月期 中間決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成19年10月26日に発表いたしました「平成20年2月期 中間決算短信」の内容に一部誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正理由

平成20年2月期決算短信のうち、「連結の範囲に関する事項」の記載に一部誤りがありましたので、訂正を行います。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____で示しております。

中間連結財務諸表作成の為の基本となる重要な事項

<訂正前>

<p>前中間連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年8月31日)</p>	<p>当中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)</p>	<p>前連結会計年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)</p>
<p><u>1. 連結の範囲に関する事項</u> (1) 連結子会社の数 22社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)松竹シネマエンタープライズは平成18年5月30日に清算終了したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 また、従来持分法適用会社であった(株)神奈川メディアセンターは株式の取得により持分比率が増加したため、(株)デジタルマガジンは新規で株式を取得(新規会社設立)したため、当中間連結会計期間より連結子会社になりました。</p> <p style="text-align: center;">後略</p>	<p><u>1. 連結の範囲に関する事項</u> (1) 連結子会社の数 21社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、匿名組合築地ビルキャピタル、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)大和衣裳は平成19年3月1日付で連結子会社松竹衣裳(株)が吸収合併したため、(株)エスエージェンシーは平成19年7月30日に清算終了したため当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 また、前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった(株)松竹エンタテインメントは重要性が増加したため、当中間連結会計期間より連結対象に含めております。</p> <p style="text-align: center;">後略</p>	<p><u>1. 連結の範囲に関する事項</u> (1) 連結子会社の数 22社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、匿名組合築地ビルキャピタル、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)松竹シネマエンタープライズは平成18年5月30日に清算終了したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。また、(株)松竹シネブラッツは平成18年6月15日に解散し清算会社となったため、連結財務諸表に影響を及ぼさないものと判断されたことから連結の範囲から除外しておりますが、損益計算書のみ連結しております。 また、従来、持分法適用会社であった(株)神奈川メディアセンターは株式の取得により持分比率が増加したため、(株)ドーガ堂は新規で株式を取得(新規会社設立)したため、当連結会計年度より連結対象に含めております。</p> <p>(会計処理方法の変更) 当連結会計年度より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年9月8日実務対応報告第20号)を適用しております。これにより、匿名組合築地ビルキャピタルを連結対象に含めており、総資産は28,262,735千円、営業利益は280,197千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前当期純利益には影響ありません。</p> <p style="text-align: center;">後略</p>

<訂正後>

<p>前中間連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年8月31日)</p>	<p>当中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)</p>	<p>前連結会計年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)</p>
<p>1. 連結の範囲に関する事項 (1) 連結子会社の数 22社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)松竹シネマエンタープライズは平成18年5月30日に清算終了したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 また、従来持分法適用会社であった(株)神奈川メディアセンターは株式の取得により持分比率が増加したため、(株)デジタルマガジンは新規で株式を取得(新規会社設立)したため、当中間連結会計期間より連結子会社になりました。</p>	<p>1. 連結の範囲に関する事項 (1) 連結子会社の数 21社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、匿名組合築地ビルキャピタル、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)大和衣裳は平成19年3月1日付で連結子会社松竹衣裳(株)が吸収合併したため、(株)エスエージェンシーは平成19年7月30日に清算終了したため当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 また、前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった(株)松竹エンタテインメントは重要性が増加したため、当中間連結会計期間より連結対象に含めております。</p>	<p>1. 連結の範囲に関する事項 (1) 連結子会社の数 22社 主要な連結子会社の名称 (株)松竹マルチプレックスシアターズ、(株)衛星劇場、匿名組合築地ビルキャピタル、松竹衣裳(株)</p> <p>なお、(株)松竹シネマエンタープライズは平成18年5月30日に清算終了したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。また、(株)松竹シネブラッツは平成18年6月15日に解散し清算会社となったため、連結財務諸表に影響を及ぼさないものと判断されたことから連結の範囲から除外しておりますが、損益計算書のみ連結しております。 また、従来、持分法適用会社であった(株)神奈川メディアセンターは株式の取得により持分比率が増加したため、(株)ドーガ堂は新規で株式を取得(新規会社設立)したため、当連結会計年度より連結対象に含めております。</p> <p>(会計処理方法の変更) 当連結会計年度より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年9月8日実務対応報告第20号)を適用しております。これにより、匿名組合築地ビルキャピタルを連結対象に含めており、総資産は28,262,735千円、営業利益は280,197千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前当期純利益には影響ありません。</p> <p><u>なお、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年9月8日 実務対応報告第20号)は、当連結会計年度下期において公表・適用されたため、当中間連結会計期間は従来</u> <u>の方法によっております。従っ</u></p>

<p style="text-align: center;">後略</p>	<p style="text-align: center;">後略</p>	<p>て、当中間連結会計期間は、同 <u>取扱いを適用した場合、総資産 は28,739,118千円増加し、営業 損失は288,286千円減少してあ りますが、経常損失及び税金等 調整前中間純損失には影響あ りません。</u> 後略</p>
---------------------------------------	---------------------------------------	--

以上